

癌化学療法 投与計画書

病名: 未治療の多発性骨髄腫

プロトコール名: DMPB療法(10サイクル以降)

クール目	身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
開始日			
次回予定日			

確認事項

- 2回目以降のダラザレックスの希釈液は、初回開始時から3時間以内にInfusion reactionが認められなかった場合、500mLにしてよい
- 3回目以降のダラザレックスの投与時速度は、忍容性良好であれば100mL/hから開始可

※0.2μmのフィルターを使用すること

							DAY 1	
薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	1月0日	標準投与量	
1	ソルデム3輸液	500mL	点滴	3時間		○		
2	生理食塩液	100mL	側管	1時間		○		
	デキサート(6.6mg)	3瓶	側管			○		
3	レスタミンコーワ錠(10mg)	3錠	経口			○		
	カロナール錠(200mg)	4錠	経口			○		
4	生理食塩液	50mL	側管		前後フラッシュ用	○		
5	生理食塩液	初回1000mL、 2回目以降500mL	側管	初回 50ml/h(1H)→ 100ml/h(1H)→ 150ml/h(1H)→ 200ml/h	単独で 前投薬投与終了1 時間後に開始	○	ダラザレックス	
	ダラザレックス	16mg/kg	側管	3回目以降 100ml/h(1H)→ 150ml/h(1H)→ 200ml/h	0.22μm又は0.2μm のフィルターを通して投与	○	mg	
6	生理食塩液	50mL	側管		前後フラッシュ用	○		

1サイクル: 28日
投与日: ダラザレックス day1